

INTER-Mediator 5.8と FileMaker Data API

2018/09/19

INTER-Mediator勉強会2018-#6発表資料

松尾篤（株式会社エミック）

Agenda

- FileMaker Data API
- FMDataAPI
- INTER-Mediator 5.8

FileMaker Data API

FileMaker Data API

- 共有データベースのデータに Web サービスからアクセスできるようにするアプリケーションプログラミングインターフェース（「FileMaker 17 Data API ガイド」より）
- 応答データはJSON

バージョン17で正式版に

- FileMaker 17で正式に搭載
 - FileMaker Server 17
 - FileMaker Cloud 1.17



トライアル版の使用期限

- FileMaker Server 16とFileMaker Cloud 1.16のFileMaker Data APIはトライアル版
 - 試用期間は2018年9月27日まで

Data API ライセンス

- 転送量に応じたライセンスモデル
- FileMaker Data API経由でFileMaker Server (FileMaker Cloud) から外部へデータを送信する通信処理が行われたときにデータ転送量としてカウント

Data API ライセンス

- 1ライセンスあたり年間24GBがバンドル
- 5ユーザーライセンスではデータ転送量の年間上限は120GB
- 年間Data API ライセンスを追加購入する場合の価格は24GB分で6,480円（税別）

Data APIでできる操作

- 共有データベースへのログインまたはログアウト
- レコードの作成、編集、削除、取得、またはレコードの範囲の取得
- 検索の実行
- グローバルフィールド値の設定

バージョン17から利用可能

- FileMakerスクリプトの実行
- オブジェクトフィールドへのデータのアップロード

バージョン17から利用可能

- 外部FileMakerテーブルのデータへのアクセス
- レコードまたはレコードの範囲の取得時における応答データへの別のレイアウトの使用 (`layout.response`引数)

サポートされない機能

- 外部ODBCデータソースのデータへのアクセス
- FileMakerプラグイン

サポートされない機能

- ユーザインタラクションによるスクリプトトリガのアクティブ化
- サーバーマシンのファイルシステムへのアクセス
- 例：Get (テナポラリパス) 関数

fmrest拡張アクセス権

- FileMaker Data API用の拡張アクセス権
キーワードは**fmrest**

Data APIのドキュメント

- FileMaker 17 Data API ガイド

<https://fmhelp.filemaker.com/docs/17/ja/dataapi/>

FMDataAPI

FMDataAPI

- 新居雅行氏が開発
- FileMaker Data APIをPHPで利用するためのライブラリ
- MITライセンス

<https://github.com/msyk/FMDataAPI>

FMDataAPIの利点

- データベースへの接続に必要なアクセストークンを意識せずに使える
- SSLサーバー証明書を実際に導入しなくても開発できる枠組みがある（運用時には証明書は必要）
- サーバー名に「localserver」を指定

FMDataAPIに関する情報

- <https://blog.msyk.net/?s=FMDataAPI>
- <https://www.famlog.jp/search?q=FMDataAPI>
- <https://github.com/msyk/FMDataAPI>

INTER-Mediator 5.8

INTER-Mediator 5.8

- FileMaker Data APIに対応
 - FMDataAPIを搭載
- 現在鋭意開発中
 - バージョン5.8-RC2をリリース済み

CWPからData APIへの変更

- INTER-Mediatorでは基本的に
「FileMaker_FX」クラスから
「FileMaker_DataAPI」クラスに変更して
サーバー名に「localserver」を指定する
だけ
- いくつかの留意点あり

Data API利用時の留意点

- ポータル名
- グローバルフィールド値の設定
- FileMakerスクリプトの実行

ポータル名

- 関連レコードが含まれているポータルのデータを扱うには**ポータル名**を指定する必要あり

INTER-Mediator Sample Database (Last Updated: February 24, 2018)

The screenshot displays a web-based interface for a database. On the left, there is a form with several input fields: 'id', 'name', 'address', 'mail', 'category', 'checkin', and 'location'. Each field has a magnifying glass icon next to it. To the right of these fields is a 'memo' text area. Below the form, there is a table with columns: 'id', 'person_id', 'summary', 'datetime', 'description', 'important', and 'way'. The table contains one row of data with corresponding values in double colons (e.g., '::id', '::perso...').

On the right side of the interface, there is a panel with various settings. The '名前' (Name) field is highlighted with an orange oval and contains the text 'Contact'. Below it, there are sections for '位置' (Position) and 'サイズ' (Size) with numerical values and units (pt).

位置	値	単位
左辺	143	pt
右辺	854	pt
上辺	246	pt
下辺	403	pt
サイズ	711	pt
幅	711	pt
高さ	157	pt

グローバルフィールド値の 設定

- レイアウト名と（リレーションシップグラフ内の）テーブルオカレンス名が異なる場合には「**テーブルオカレンス名::フィールド名**」の形式でグローバルフィールドを指定する必要あり

FileMakerスクリプトの実行

- 実行するスクリプトの最後に**Get (対象レコード数) & "/" & Get (レコード総数)**を結果として返すように **【現在のスクリプト終了】** スクリプトステップを入れる必要あり

Data API利用時の留意点

- 現時点におけるFileMaker Data APIの仕様や制限に起因

まとめ

まとめ

- INTER-Mediatorはバージョン5.8で
FileMaker Server 17のFileMaker Data API
に正式に対応予定
- PHPを実行できるWebサーバーを併用
すればFileMaker Cloud 1.17でも動作